

雲南市「道の駅シンポジウム」

主催 雲南市

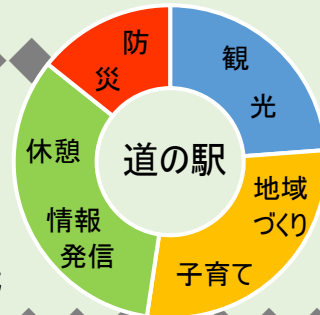
本シンポジウムは、昨年作成した「道の駅活性化ビジョン」をもとに、雲南市における道の駅に関する施策を説明するとともに、能登半島地震においてクローズアップされた道の駅の防災上の役割など、今後期待される道の駅の多様な在り方を考える機会として開催いたします。

基調講演

道の駅と地域デザイン

～全国の事例からみる、道の駅のミッションとは？～

全国「道の駅」女性駅長会 会長 加藤はと子氏



開催日時 令和6年3月17日(日) 9:30～11:45

受付/9:00～

開催会場 雲南市役所 本庁舎201・202・203会議室
(雲南市木次町里方521番地1)

内容 9:30～ オープニング・事業説明(市より)

9:50～ 基調講演

11:00～ パネルディスカッション

《テーマ》

これからの道の駅を考える

《パネリスト》

加藤はと子氏(全国道の駅女性駅長会会長)

渡邊 優一氏(道の駅「おろちの里」事務局長)

小長谷悠紀氏(島根県立大学 教授)

吉山 治氏(雲南市副市長)

11:40～ クロージング

参加 どなたでも(参加費無料)、託児あり



【講師】加藤はと子氏プロフィール

全国「道の駅」女性駅長会 会長、(株)ばずる 代表取締役 地方創生マーケティング事業/新潟県加茂市出身。
2017年4月～2022年3月 「道の駅」庭園の郷保内(新潟県三条市) 駅長
赤字経営を黒字化、4年で売上2.5倍、来館者数18万人→25万人
2022年4月～ 「道の駅」国上(新潟県燕市) 駅長 開駅20年の道の駅のリニューアル
指定管理料2500万円→0円、リニューアル後の売上5倍、来館者数20万人→55万人
一方で、女性のつながる力を活かした「横の連携強化」を目指して2020年全国「道の駅」女性駅長会を設立、現在は国交省、全国の道の駅と連携し能登半島地震に尽力している。
2024年4月～総務省 総務省地域力創造アドバイザーに就任。

参加申込はコチラ

参加ご希望の方は、メール、FAX、QRコードにて、参加申込ができます。

必要事項(氏名、連絡先、託児希望の場合は人数、年齢)をご記入等のうえ、お申込ください。

託児希望の方は、令和6年3月8日(金)までに、お申込みください。

【参加申込書】FAX(0854-40-1059)にて参加申込の場合はそのまま送付ください。

氏名	連絡先(電話番号)

こちらからも
お申し込み
いただけます

託児(ご希望の方は人数、年齢をお願いします)	
託児人数	対象年齢
人	(歳)(歳)(歳)

託児無料。おむつ、着替え、飲み物など必要なものはご持参ください。



雲南市役所
産業観光部
観光振興課

観光施設再生活用推進室

TEL:0854-40-1054

FAX:0854-40-1059

e-mail:kankoushinkou

@city.unnan.shimane.jp